

福島県及び全国における環境モニタリングの強化 (文部科学省平成24年度政府予算案)

平成24年度予算案 : 3,755 百万円
(うち復興特別会計 : 1,115 百万円)
(新 規)

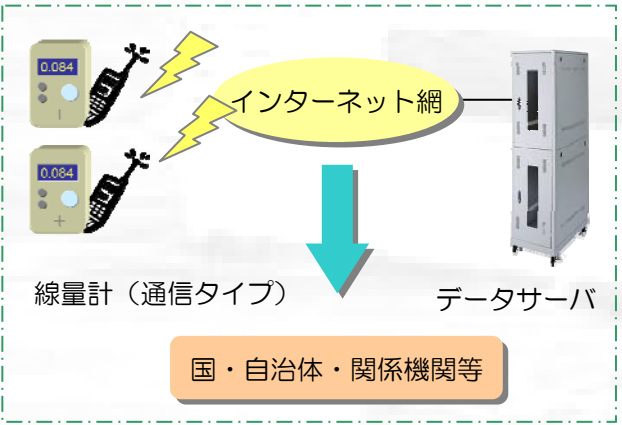
資料1-1-8

※このほか、原子力災害発生以前から定常的に行っている環境モニタリングの継続分(8,536百万円)がある

◆ 東京電力福島第一原子力発電所事故の影響把握等に必要環境モニタリングの強化等 [1,109百万円]

○原子力発電所周辺地域の早期環境回復、子供の健康や国民の安全・安心に応えるため、平成23年度第一次及び第二次補正予算等において国の責任により福島県を中心に整備するリアルタイム放射線監視システム及び可搬型モニタリングポストの維持・管理を着実に実施。

リアルタイム線量測定システムのイメージ



可搬型モニタリングポスト

◆ 東京電力福島第一原子力発電所事故を踏まえた放射能測定・監視体制の強化

[2,646百万円]

○平成23年度第二次補正予算により整備した全国各地の空間線量を網羅的に把握・公表するシステムや、環境試料中の放射能濃度測定に必要な分析装置(ゲルマニウム半導体検出器)等の整備など、環境放射能の測定に不可欠な設備・機器等の維持・管理を着実に実施。



伝送



モニタリングポスト

測定結果の公表

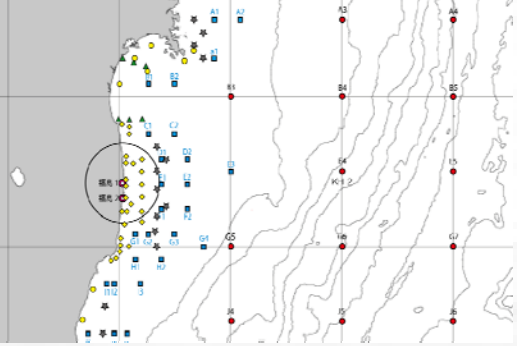


ゲルマニウム半導体検出器

○宮城・福島・茨城県の沖合及び外洋における海域モニタリングを継続実施するとともに、東京電力福島第一原子力発電所から放出された放射性物質による海洋への影響の実態把握に向けた拡散シミュレーション等を実施。



海域モニタリング



平成 24 年度予算案における放射線測定設備の整備・維持について

平成 24 年 1 月 24 日
文 部 科 学 省
原子力災害対策支援本部

文部科学省は、平成 24 年度予算案において、福島県及び全国における放射線モニタリング体制強化のため、以下の取組等を着実に実施するために必要な経費を確保している。

1. リアルタイム放射線監視システム

平成 23 年度第 1 次及び 2 次補正予算により福島県内の学校、保育所、公園等にリアルタイム線量計を計 2,700 台設置し、リアルタイムに放射線を監視するシステムを構築[※]するとともに、その維持・管理を着実に実施。

※本年 2 月中に設置完了・運用開始予定。

2. 固定型モニタリングポスト

全国 47 都道府県に各 1 基設置していた固定型モニタリングポストに加え、平成 23 年度第 2 次補正予算により全国で計 250 基を増設[※]し、その維持・管理を着実に実施。

※本年 3 月中に整備予定。

3. 可搬型モニタリングポスト

平成 23 年度第 1 次及び 2 次補正予算等により、福島県に計 434 台、福島県隣県に計 130 台の可搬型モニタリングポストを設置[※]し、その維持・管理を着実に実施。

※福島県設置分のうち 20 台は昨年 9 月に既に設置完了（空間線量率の測定値及びグラフをリアルタイムにホームページ上で表示するシステムを運用中）。これを除く 544 台については、本年 3 月中に設置完了予定。